



内外情勢の回顧と展望

平成30年(2018年)1月

公安調査庁

●表紙で使用している写真について



- ① 首相官邸ウェブサイト (<http://www.kantei.go.jp>)
- ② 中国新指導部／26日付の人民日報(写真提供:時事)
- ③ サイバー攻撃／ランサムウェアの脅迫文画面(写真提供:時事)
- ④ NKOREA-POLITICS-KIM(写真提供:AFP=時事)
- ⑤ Suicide attack in Somalia(写真提供:AA/時事通信フォト)
- ⑥ 憲法記念日／護憲派集会(写真提供:時事)

内外情勢の回顧と展望（平成30年版） の発刊に当たって

公安調査庁長官 中川 清明

公安調査庁は、毎年1月、その前年の公共の安全に関わる我が国内外の諸情勢を「内外情勢の回顧と展望」に取りまとめて、発刊しております。ここにその平成30年版をお届けします。

当庁は、公共の安全の確保を任務としており、破壊活動防止法や無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律に基づき、オウム真理教に対する観察処分を適正かつ厳格に実施しているほか、我が国の情報コミュニティのコアメンバーとして、国際テロや周辺国情勢、国内諸団体の動向等、我が国の公共の安全に影響を及ぼし得る国内外の諸動向について情報を収集・分析し、政府の政策決定への情報貢献に努めております。

平成29年（2017年）における内外の諸情勢を見ますと、国外では、北朝鮮が各種弾道ミサイルを相次いで発射するとともに、核実験を強行したほか、欧米諸国や東南アジアにおいて、重大な国際テロ事案が続発するなど、我が国の安全保障にとって深刻かつ重大な脅威が認められます。また、中国では、習近平指導部が、第19回党大会で「強国」建設を目標に掲げ、国際的影響力を向上させる方針を示しており、我が国への影響等が注目されます。一方、国内では、オウム真理教が依然として危険な体質を維持しつつ、組織拡大に努めているほか、過激派が様々な機会を捉えて市民層に働き掛けを行っており、警戒が必要です。さらには、重要情報の窃取等を目的としたサイバー攻撃事案が引き続き確認されるなど、我が国を取り巻く内外の情勢は、依然として厳しいと言わざるを得ません。

こうした情勢の下、我が国においては、平成31年（2019年）に、ラグビーワールドカップ2019やG20サミットが予定され、続いて、平成32年（2020年）には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるなど、国際的に関心の高いイベントを多数控えています。これらの安全かつ円滑な開催に向けて、当庁では、テロ等の未然防止を図るため、各種情報の収集・分析に全力で取り組んでいます。

近年、我が国への脅威が多様化する中、公共の安全を確保していくためには、官民の連携が極めて重要です。公安調査庁では本資料を含め、今後とも国民の皆様への情報発信に一層の努力を行ってまいりたい所存です。皆様におかれては、本資料を御活用いただきますとともに、当庁の業務について御理解及び御支援を賜りますよう、この場を借りて心からお願い申し上げます。

Contents … [目次]

内外情勢の回顧と展望(平成30年版)の発刊に当たって …………… 01

平成29年の国外情勢

1 北朝鮮・朝鮮総聯

1-1	核戦力の完成に向け突き進む北朝鮮、我が国への脅威が一段と深化 ……………	07
	COLUMN 北朝鮮の核実験 ……………	08
	COLUMN 北朝鮮のミサイル開発:「火星」型と「北極星」型 ……………	09
1-2	米国への対決姿勢をてこに体制の安定維持を図る北朝鮮 ……………	11
	COLUMN 「党中央委員会第7期第2回全会議」における指導部人事の注目点 ……………	13
1-3	我が国の対北朝鮮姿勢に不満、関係改善に関心示すも日朝合意履行の動きはなお見せず ……………	14
	COLUMN 「よど号」グループをめぐる動向 ……………	15
1-4	金正恩党委員長への忠誠心扶植と団結強化を図る朝鮮総聯 ……………	15
	COLUMN 北朝鮮の「教育援助費と奨学金」送付60周年をめぐる動向 ……………	17



(写真提供: AFP=時事)



(写真提供: 朝鮮通信=時事)

2 中国



(写真提供: 時事)

2-1	第二期習近平指導部が発足、人事・政治思想の両面で権力基盤を確立 ……………	18
	COLUMN 不透明化する“ポスト習近平”の行方 ……………	22
2-2	党大会に向け対外環境の安定に腐心しつつも、国際秩序を主導する姿勢を鮮明に ……………	23
	COLUMN 米新政権に対する中国の認識・対応 ……………	24
	COLUMN 「一帯一路」国際協力ハイレベルフォーラムの開催状況 ……………	26

2-3	日中関係の安定を志向するも、 歴史認識や「核心的利益」に関わる問題では我が国に対し不信感	27
2-4	兩岸関係がこう着する中、緊張が徐々に増大	29
	COLUMN 台湾と外交関係を有する国と中国の関係	30

3 ロシア



(首相官邸ウェブサイト 〈http://www.kantei.go.jp〉)

3-1	米政権交代を捉えた外交環境打開は不首尾、 大統領選挙での高投票率・得票率の確保に腐心	31
COLUMN	大統領選挙を見据えた プーチン大統領の「イメージ戦略」	33
COLUMN	インターネット規制を強化するロシア	33
3-2	我が国との経済協力の 拡大を目指す一方、 北方領土における開発を推進	34
COLUMN	北方領土の無名島しょに名称を付与	36

4 国際テロ



(写真提供：AA/時事通信フォト)

4-1	概観	37
4-2	「イラク・レバントのイスラム国」は、 シリア、イラクで退潮傾向	37
4-3	各地における「イラク・レバントのイスラム国」 関連のテロの脅威は引き続き深刻	40
COLUMN	欧州で多発する マグレブ系移民によるテロ	44
4-4	「アルカイダ」は、引き続き求心力の回復を企図	45
COLUMN	継続するイスラエルとパレスチナの対立	47
4-5	「タリバン」がアフガニスタンで攻勢を維持	47

5 サイバー攻撃をめぐる動向



(写真提供：時事)

5	世界規模のサイバー攻撃 事案を始めとする、 多様かつ深刻なサイバー攻撃	49
COLUMN	サイバー空間における北朝鮮の脅威	50

6 大量破壊兵器関連物資等をめぐる動向



(写真提供：コリアメディア=共同通信社)

- 6 軍事転用可能物資・技術の獲得を狙った活動 51
- COLUMN 北朝鮮のフロントカンパニーとされるマレーシア企業 53

平成29年の国内情勢

1 オウム真理教



- 1-1 危険な体質を維持しつつ、組織拡大に努めるオウム真理教 55
- 1-2 “麻原絶対”を徹底し、組織拡大を図る主流派 58
- 1-3 引き続き観察処分逃れに取り組む上祐派 59
- COLUMN オウム真理教がじゃっ起した凶悪事件の数々 60
- COLUMN 教団施設の周辺に居住する地域住民らによる抗議活動の現状等 61

2 社会的に注目を浴びた事象をめぐる諸団体の動向



(写真提供：時事)

- 2-1 組織的犯罪処罰法改正案に対し党派を超えた反対運動を展開 62
- 2-2 米軍普天間基地の辺野古移設阻止を訴えて妨害などの抗議行動を継続 62
- 2-3 慰安婦問題の「真の解決」を政府に求める活動を継続 63
- 2-4 原発再稼働が進む中、引き続き反対運動を実施 64
- COLUMN 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に対する反対運動 65

3 過激派



3 「安倍・トランプ両政権打倒」を訴えて活動を展開した過激派 66

COLUMN 新入生をターゲットに大学での勧誘活動を継続する過激派 68

4 共産党



(写真提供：共同通信社)

4 「安倍政権打倒」を掲げて政府・与党批判層の結集に力を注いだ共産党 69

COLUMN 青年・学生層の取り込みに力を注いだ共産党 71

5 右翼団体など



5 近隣諸国との諸問題を取り上げて活動した右翼団体など 72

COLUMN 在日中国人による抗議活動に右派諸勢力が対抗 73

巻末資料 平成29年の主要公安動向 74

公安調査庁WEBサイトのご案内 78

※この「内外情勢の回顧と展望」(平成30年版)は、平成29年(2017年)における内外公安動向を回顧し(11月現在)、今後を展望したものです。なお、本文中、特に断りのない限り「〇月」との表記は、原則として平成29年(2017年)の当該月を指し、本文に記載した人物の肩書きは当時のものとしています。